

みてみて！家庭学習ノート【榛沢小学校】

課題
 点対称な図形をもっとくわしく調べましょう。
 ・対応する2つの頂点を結ぶ直線ADと直線BEにどこで交わりますか。→対称の中心で交わる
 ・対称の中心から対応する頂点までの長さ→等しくなっている

自分の考え
 ①対称の中心から対応する2つの点までの長さが等しくなっていた
 ②など 対称の中心は角の数が偶数のときに真ん中にきて

まとの
 点対称な図形では、対応する2つの点を結ぶ直線は対称の中心を通る。また対称の中心から対応する2つの点までの長さは等しい。

学習感想
 点対称な図形では対応する2つの点を結ぶ直線は対称の中心を通り、対称の中心から対応する2つの点までの長さは等しいことがわかった。
 角の数が奇数のときに真ん中にこないのだろうか。
 なるほど、角が奇数の点対称？
 おもしろいかな？

練習問題
 対称の中心を書く
 点Gに対応する点を書く

6年生家庭学習ノート
 授業で学習したノートを自主学習ノートに写し直し、復習しています。ノートの上3分の2程度が授業ノートの写し、下3分の1程度が家庭学習で付け加えたところです。気づいたことや疑問なことを書き加えて、自分なりにまとめ直しています。

自主学
 5年生のじゆんびん
 ①1を5こ、0.1を5こ、0.01を5こ、0.001を9こあわせた数
 ②0.01を296こ
 集めた数
 (2.96) × 8 = 23.68
 (5.559) × 8 = 44.472
 ③647 × 9 = 5823
 ④3.95 × 42 = 165.9
 ⑤7.10 × 1.4 = 9.94
 ⑥2480 × 6 = 14880
 ⑦計算 255.9 × 30 = 7677
 ⑧2764.5 × 8 = 22122
 ⑨0.25 × 24 = 6
 ⑩135 × 40 = 5400
 ⑪2.88 × 30 = 86.4
 ⑫132 × 120 = 15840
 ⑬120 × 120 = 14400

小数点をわすれずに

かけ算と小数点を
 ① $\frac{4}{5} + \frac{3}{5} = \frac{7}{5}$
 ② $\frac{1}{5} + \frac{1}{5} = \frac{2}{5}$
 ③ $\frac{2}{3} - \frac{1}{3} = \frac{1}{3}$
 ④ $\frac{4}{37} - \frac{6}{7} = \frac{28}{259} - \frac{222}{259} = -\frac{194}{259}$
 ⑤ 30m × 30m 式 $3 \times 3 = 9$ 答え 9cm^2
 ⑥ 30m × 60m 式 $6 \times 5 = 30$
 $2 \times 3 = 6$
 $30 + 6 = 36$ 答え 24cm^2
 ⑦ 辺アエの長さは？ (3cm)
 ⑧ ①と②は何度？
 ⑨ 102° ⑩ 78°
 ⑪ 2つの点か×Eしてあていね。

5年生家庭学習ノート
 問題集の問題をノートに写して解き直しています。答え合わせまでして、間違えたところは直しています。また、次に計算するとき気をつけられるように、計算のポイントも書き加えています。